

1. 教科の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・相手の目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気をつけてきくことができるとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。 ・相手や目的に応じ、調べたことが伝わるように段落相互の関係などを工夫して文章をかくことができるようにする。 ・目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができる。 ・幅広く読書しようとする態度を育てる。

2. 到達目標

観点	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識 ・理解・技能
目標	国語に対する関心をもち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。	相手や目的に応じ調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聞いたりする。	相手や目的に応じ調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。	目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。 書写では文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、組み立て方などを理解して文字を正しく書く。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	場面の様子を思い浮かべながら声に出して読もう (すいせんのラッパ どきん 夕日がせなかをおしてくる) 国語じてんの使い方を知ろう 言葉の広場	・叙述をもとに、物語や詩に描かれた場面の様子や人物の気持ちを読みとる。 ・読みとったことが表れるように音読することができる。 ・国語辞典の仕組みを理解し、使うことができる。
5	自分をしょうかいするスピーチをしよう (知ってほしいな、自分のこと) しょうたいじょうを書こう 形の変わる言葉に気をつけよう	・自分について知らせたいことを選び、聞き手のことを考えてスピーチをすることができる。 ・学校行事などへの招待状を書き、相手や目的にあった文章を書くことができる。
6	段落ごとに内容をとらえながら読もう (自然のかくし絵) 漢字の組み立てと意味を考えよう	・段落ごとにまとまりに注意して、書かれていることを正しく読み取ることができる。
7	物語のあらすじを考えながら読もう (ゆうすげ村の小さな旅館) 出来事を伝えよう	・場面の展開を読み取って、物語のあらすじをまとめることができる。 ・出来事を伝えるための必要な要素を落とさずに文章を書く。
9	心をはっきりさせて説明しよう (わたしのお気に入りの場所)	・伝える中心となることを決め、工夫して紹介することができる。 ・役割分担を決め、台本を書くことができる。
10	世界の民話を読もう (木かげにごろり) 想像を広げて	・民話のおもしろさを読み味わうとともに、いろいろな民話を紹介する。
11	いろいろなお祭りについて調べよう (つな引きのお祭り) 言葉の広場	・絵を見て想像した事柄に関連づけて話を作る。 ・何がどのように書かれているかに気をつけて文章を読み、地域の行事を調べて紹介する。
12	伝えたいことをはっきりさせて書こう (わたしの研修レポートを書こう) 様子を詳しく表そう	・身近なくらしの中から、自分が興味を持ったことについて調べ、記録文を書く。 ・修飾語を含む文の特徴を知り、様子を詳しく書き表す工夫をすることができる。
1	よりよいくらしについて話し合おう (盲導犬の訓練) いろいろな伝え方を知ろう	・書かれていることを段落ごとに読み取り、盲導犬について調べてわかったことを話し合うことができる。
2	中心となる人物の気持ちを考えよう (サーカスのライオン) こそあど言葉を使い分けよう	・人物の気持ちの変化を中心に場面を読み取り、感想をまとめる。 ・指示語について使い分けすることができる。
3	想像したことを書こう 「もしもの国」に行ってみよう	・設定からはずれないように想像したことを文章に書くことができる。

4. 評価の観点・方法

<p>・次のような方法で評価していきます。</p> <p>発表内容 ノート 音読 テスト 発表会 作文 音読の観察 取材態度 メモの内容 台本 評価カード</p>

5. 保護者の皆様へ

<p>3年生では、いろいろな単元を通して、読むこと、話すこと、伝えること、書くこと、聞くことを学習していきます。また、語彙の理解を深めるために、国語辞典の使い方学習していきます。書写では、新しく毛筆を学習します。道具のあとかたづけ等で、協力をお願いするとはおもいますが、よろしく申し上げます。</p>
--